

2011 年度政務調査費使用状況報告

2012 年 5 月 24 日 日本共産党品川区議団幹事長 飯沼雅子

1、日本共産党区議団の 2011 年度政務調査費概要について

日本共産党区議団は、2011 年度政務調査費総額 13,110,000 円の支給を受け、12,790,642 円を使用しました。活用の内訳は下記の通りです。なお、残額 319,358 円は区に返却しました。

① 調査研究費	1,190,280 円	9.31%	② 研修費	220,001 円	1.72%
③ 会議費	33,020 円	0.26%	④ 資料費	671,333 円	5.25%
⑤ 広報・活動費	4,508,766 円	35.25%	⑥ 事務費	2,138,993 円	16.72%
⑦ 人件費	4,028,249 円	31.49%			

2、政務調査費活用の内容について

①**調査研究費**：全区民対象のアンケート、武蔵小山再開発に関するアンケートを実施。区民の意識動向を把握し、多数記された意見や要望を議会質問で取り上げ、要求実現に取り組みました。行政のあり方を変える「地方分権改革」について講師による学習を行い、理解を深めました。②**研修費**：第 53 回自治体学校、障害者セミナーに参加、議会のあり方や制度の動向、問題点について学びました。団合宿で予算議会の質問や条例の論議、年間計画の検討を行いました。③**会議費**：原発廃止後の自然エネルギー政策研究のため、講師を呼んで学習し議会で提案。各種団体との懇談会、予算議会前の区政懇談会を行い、団体や区民からの意見や要望を本会議や予算・決算委員会などで取り上げました。④**資料費**：原発、防災、エネルギー、保育、教育、雇用、福祉などの書籍を購入し学習、質問に生かしました。また区政報告会の資料の印刷費、コピーカウンター料などに使用しました。⑤**広報・活動費**：定例区議会が終了毎に、区議会報告を発行し、全区民対象に配布。その他、区議の個人ニュースを発行。区民に区政の状況を報告し、意見を聴取する活動を重視して行いました。⑥**事務費**：ホームページの更新事務委託料や事務機器の保守点検委託料、コピー機、パソコン、シュレッターリース料、事務用品などに支出。⑦**人件費**：議員団の条例提案や質問に必要な情報収集や整理、政務調査活動の補助として選任事務局員を 1 名配置。アンケート集約にアルバイトも配置しました。

3、政務調査費活用の特徴について

2011 年度は 3.11 の大震災後の活動であり、区議団全員が被災地にボランティアに入り、また品川に避難した被災者のアンケート調査にて実態をつかむとともに、放射能汚染問題での懇談会、原発廃止後のエネルギー政策学習会、太陽光パネルの設置小学校の視察、区議団独自の放射能測定を行い、震災復興と救援、原発からの撤退へと議会質問や広報に力をそそぎました。放射能測定では区の姿勢を変え、ホットスポット測定、除染、給食食材測定などを実現。区の防災対策の充実を提案し家具転倒防止器具の拡大や災害弱者の福祉避難所拡大と食料や備品の備蓄が実現しました。

団体との懇談会で出された要望をもとに、点字ブロック現地調査・要望書提出・議会質問を行い一部前進、住宅リフォーム助成条例提案を行い拡大充実させることができました。アンケート結果からも切実な要望である特養ホーム増設は、八潮地域の開設実現に続き、杜松小学校跡、平塚橋会館跡に増設が決まりました。また、認可保育園は今年度新たに 6 園の開設を実現しました。また、2012 年度予算要望として各団体からの要望も含め 245 項目を区長に提出しました。

以上が日本共産党区議団の 2011 年度政務調査費使用状況の概要です。区民の暮らし、福祉充実に引き続き力を尽くします。